

博愛

第22号

～病院理念～

博愛の精神をもって医療に携わり、地域住民の健康な生活の維持、向上に尽くします。

目次

1ページ	新年のご挨拶
2ページ	糖尿病ニュース
3ページ	研修会報告
4ページ	勤続表彰
5ページ	くちのつかレンダー・求人案内
6ページ	簡単ヘルシーメニューで健やかに ～当院自慢の一品～

新年のご挨拶

地域住民の皆様、哲翁病院職員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。新年に当り年頭所感を述べさせていただきます。

昨年5月には新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが2類から5類に移行し、行政の関与を前提とした少数の医療機関による対応から、幅広い医療機関による自律的対応に移行しました。しかしウイルスの病原性に変わりはなく、当地域もほぼ毎日感染者の報告がなされており、医療機関としての感染予防体制は維持・継続する必要があります。同時にインフルエンザの蔓延には気が抜けません。

さて、今年は医療・介護・障害福祉の、トリプル改定が予定されております。改定の基本的視点と具体的方向性として医療に関しては、①現下の雇用情勢を踏まえた人材確保・働き方改革等の推進、②ポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムの深化・強化、連携の推進や医療DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進、③安心・安全で質の高い医療の推進、④効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上、の4項目が挙げられ、4月の改定に向け関係機関での議論、調整が進められております。

話は変わりますが、今年は干支でいいますと龍年にあたります。龍は十二支のなかで唯一空想上の創造物で、龍の伝説は水や雲、雨といった自然現象と密接に関係しており、また、知恵と力を兼ね備えた存在とされ、君主や英雄の象徴となっております。昨年秋、機会があり初めて日光東照宮を訪れました。まず国宝陽明門の通路天井に昇龍と降龍の絵画、その奥の唐門には寄木細工で作られた昇龍、降龍、拝殿・本殿の天井にはそれを埋め尽くす狩野探幽等による100頭の龍の絵、本地堂の天井に描かれた日光の鳴龍、まさに龍づくしでした。龍と申しますと強面の印象がありますが、私にとりましてはどの作品も顔に愛嬌を感じ、鳴き龍にいたっては、“ぐわー”と低音の鳴き声を期待しておりましたが、“チリンチリン”と風鈴のような声だったので拍子抜けした一方、龍は、本当は優しい創造物ではないかとより親しみを覚えました。日光東照宮ばかりでなく、私達を取り巻く自然、海、川、山、炎、風、雲などに龍が棲んでいると信じられ、人々は、知らず知らずのうちに自然の姿や力を龍に擬え信仰の対象としております。

例年なら前述のトリプル改定のような変革に際しては、目をとさかにし、肩ひじ張って臨むところですが、今年はせっかくの龍年にあやかりリラックスし、龍に甘え神頼みすることにしました。と同時に職場における日常業務もリラックスして行えるよう、“いつも笑顔”と各部署の仕事始めのミーティングで唱えることにしました。きっかけは、数年前から事務室の片隅の小さな額縁にひっそりと掲げられている、作家で教育評論家の中井俊己氏の文章でした。「いいことが起きたから笑顔になるのではなく、笑顔だからいいことが起きる」①笑顔だと、相手を大切に思う気持ちをつたえられる。②笑顔で接してもらった人には、喜びが生まれる。③おのずと人間関係が良くなる。④笑顔は人の表情もまわりの雰囲気も明るくする。⑤笑顔は健康や美容にもいい。

繰り返しますが、今年は、要所は締めながら笑顔と神頼みでトリプル改定への対策を講じつつ、病院理念に沿った医療活動を行い、地域から必要とされる哲翁病院本来の役割を職員一同果たして行きたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。



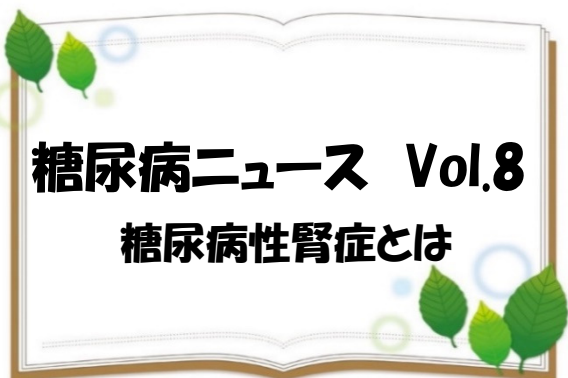
令和6年1月吉日 院長 哲翁正博

“糖尿病ニュース”

令和5年10月28日(土) 14:00~ 4階 ラウンジにて

「糖尿病教室」を開催しました！

当院の哲翁たまき医師による講話「糖尿病とは」を行い、6名の皆様にご参加いただきました。皆様からの質問に対し、医師による丁寧な回答を実施し、有意義な時間となったことと思われまます。今後も開催を予定しており、院内のポスター掲示、チラシの配布などでお知らせをいたしますので、どうぞお気軽にご参加ください。また、当院オリジナルのリーフレット「糖尿病ニュース Vol.8」を発行しましたので、「糖尿病性腎症とは」についてご紹介します。



糖尿病性腎症は、
糖尿病3大合併症のひとつです。

～糖尿病3大合併症～

網膜症 腎症 神経障害

「腎臓」とは

腎臓は“そら豆”に似た形の臓器で、左右にひとつずつあります。

大人の握りこぶしほどの大きさです

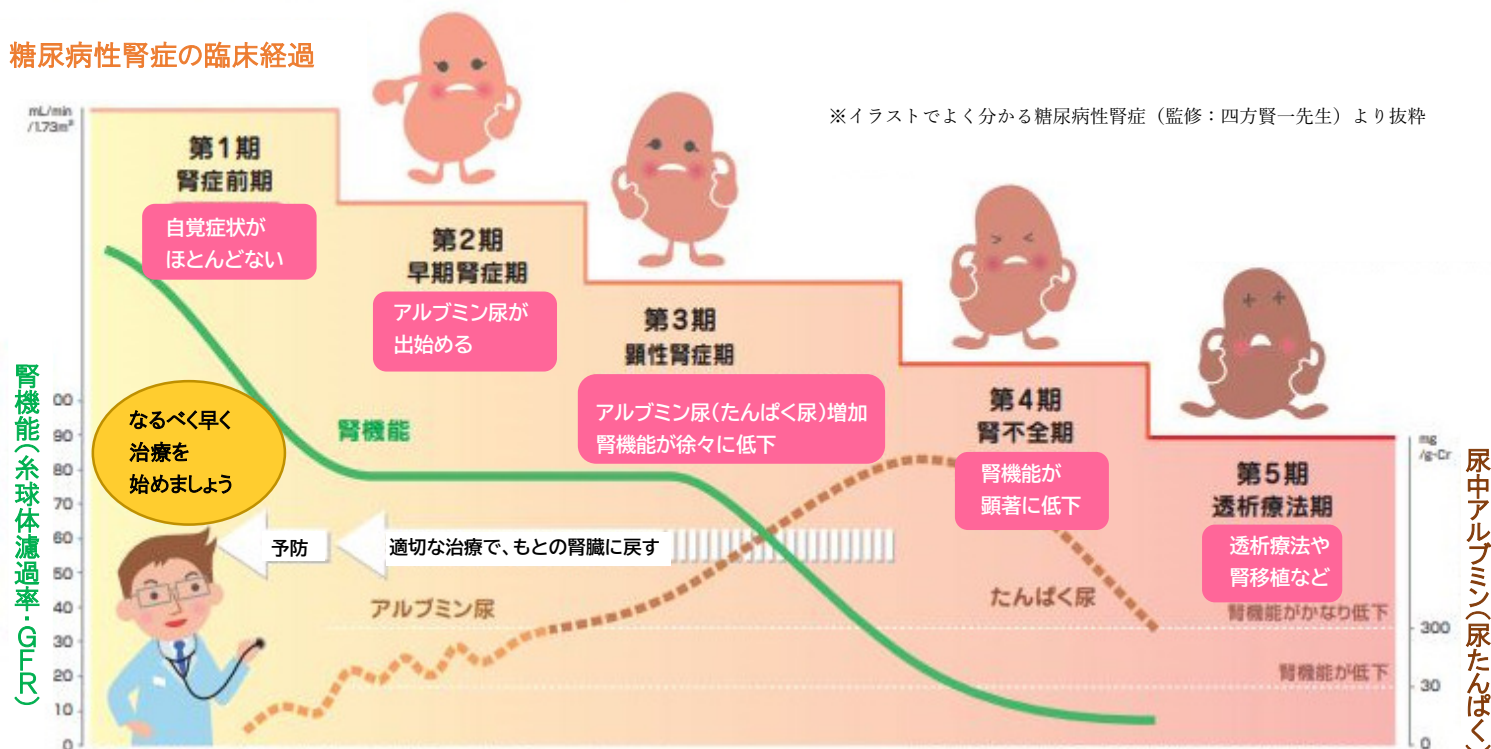


腎臓の5つの役割

- ①老廃物を体の外に排泄する。
- ②血圧を調整する。
- ③体液量やイオンバランスを調整する。
- ④血液をつくる指示を出す。
- ⑤骨を強くする。

糖尿病性腎症は、第1期から第5期まで。早期治療が大切です。

糖尿病性腎症の臨床経過



尿中アルブミン(尿たんぱく)

接遇向上研修会を開催しました

令和5年8月1日に、接遇向上研修会を開催しました。今回のテーマは「言葉遣い」で、丁寧語、尊敬語、謙譲語の考え方、間違っ言葉遣い、方言の考え方などについて、学習・検討を行いました。言葉はコミュニケーションの要であり、言葉遣いは接遇・マナーの質に直結します。これからも、スタッフ一人一人が言葉遣いを意識し、接遇・マナーの向上に努めていきたいと思ひます。



感染対策研修会を開催しました

令和5年9月20日および21日に、感染対策研修会を開催しました。今回はCOVID-19について、当院の院内感染対策マニュアルをベースに、スタッフ全員が対応・対策を再確認することを目的としました。COVID-19の感染者数は少なくなりましたが、今後も感染対策を適切に行っていきたいと思ひます。冬場は様々な感染症のリスクが高まります。読者の皆様におかれましても、手指衛生やうがい、適切な体調管理を行い、感染予防に努めましよう。



医療安全研修会を行いました

令和5年10月5日および6日に、医療安全研修会を開催しました。今回はヒヤリ・ハットの事例として、外来患者さんの名前確認、薬剤の準備中のミス、センサーマットのスイッチ入れ忘れの場面を寸劇で再現し、リスク分析を行いました。目を見張る演技力で印象に残り、職員の意識づけにつながる研修となりました。



南高医師会および長崎県医師会より勤続表彰を受けました

令和5年6月10日に、南高医師会より12名のスタッフが、また、同6月18日に、長崎県医師会より4名のスタッフが、勤続表彰を受けました。これからも、地域の医療に貢献できるよう、日々努めてまいります。



【永年勤続5年表彰】※50音順

池田 歩	調理師	中岡 美波	外来クラーク
井上 良美	調理師	野原 彩花	看護補助者
久間 美佳	看護師	林田 紗希	看護師
古賀 研介	事務員	林田 大輔	看護師
白倉 佳世	看護補助者	松島 由喜美	看護師
田中 由香梨	看護補助者	松本 和美	看護師

～古賀研介さんのコメント～

この度、永年勤続表彰（5年）をいただきました。あっという間の5年でした。周りのみなさんに助けられ、支えられた5年だったと思います。これからも与えられた役割をしっかりと果たし、成長できるように努力していきたいと思ひます。



【永年勤続10年以上の表彰】※50音順

市川 明日佳	看護師（勤続10年）
大湊 綾子	看護師（勤続20年）
小山 千佳子	看護師（勤続10年）
松木 朝美	看護師（勤続30年）

～松木朝美さんのコメント～

この度、永年勤続表彰をいただきまして、誠にありがとうございます。病院に勤務して31年。皆様に支えていただいたおかげで、このように長く勤めることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも健康に気をつけ、皆様と一緒に楽しく過ごしていければと思ひます。

「くちのつカレンダー」に当院スタッフが撮影した写真が採用されました

くちのつカレンダー2024年「令和6年」（企画・制作：口之津港の魅力をIKASU会、くちのつエビス倶楽部）に、当院の哲翁和博 医師と、鹿田佑樹 理学療法士が撮影した写真が採用されました。カレンダーの写真は、みなとオアシスクちのつアート展（主催：みなとオアシスクちのつ運営協議会）での人気投票をもとに選ばれた作品です。カメラ愛好家の方々の素晴らしい写真で彩られたカレンダーとなっております。口之津町内の各種店舗等で販売されていますので、気になる方はぜひこの機会にご覧ください。販売所などの詳細につきましては、くちのつエビス倶楽部のホームページをご確認ください。



「雪の口之津港」

積雪の朝、港の公園の清々しい景色です。

撮影者：哲翁 和博



「マリンフェスタ花火大会」

山の方から見下ろした構図で花火を撮影しました。

撮影者：鹿田 佑樹

求人のご案内

当院では現在、下記の職種を募集しています。

管理栄養士

調理員

詳細につきましては、当院のホームページにて確認、もしくは電話にてお問い合わせください。また、ご質問については、当院ホームページのお問い合わせフォームからも可能です。

お問い合わせ先

0957-86-3226

※総務課をお申し付けください

求人ページ



上のバーコードを
スマートフォン等で
読み取ってください



一緒に哲翁病院で働きませんか？

ご応募お待ちしております！





簡単ヘルシーメニューで健やかに ~当院自慢の一品~

鯖の変わりみそ煮

<材料> 2人分

鯖の切り身 (60g) 2切れ

大根 90g

深ねぎ 40g

砂糖 小さじ2

みりん 小さじ1/2

みそ 大さじ1

醤油 小さじ1

水 適宜



<作り方>

- ① 大根は、半月切りにして下茹でをする。深ねぎは5cmに切る。
- ② 鍋に砂糖、みりん、水を入れ火にかけて煮立ったら、鯖と大根を入れて、中火で煮る。
- ③ 煮汁が半分くらいになったら深ねぎ、みそ、醤油を入れ、味がしみるまで煮て、できあがり。

<レシピのポイント>

鯖は、栄養価の高い食品でDHAやEPAが含まれ血液をサラサラにしてくれます。また、たんぱく質や鉄分も豊富に含み、貧血の予防やフレイル予防に効果が期待されます。季節の野菜と一緒に煮ることで、甘味や、ボリューム感が増し、寒い日に体が温まる1品です。ぜひお試しください。

<1人分の栄養価>

エネルギー 197kcal

タンパク質 14.1g

脂質 10.5g

食物繊維 1.7g

食塩相当量 1.6g



外来担当医一覧表

令和6年1月4日現在

	診療科	月	火	水	木	金	土
午前	内科・消化器内科	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博
	内科・神経内科	哲翁 直子	哲翁 直子	哲翁 直子	哲翁 直子	哲翁 直子	
	外科・内科	山本 正幸 (11時まで) 哲翁 華子 (11時より)	山本 正幸	山本 正幸 (11時まで)	山本 正幸	山本 正幸	
	内科・高血圧代謝	笹栗 俊之 (11時～)	笹栗 俊之	笹栗 俊之			
	消化器内科	長崎大学医師		山崎 一朋	福岡大学医師	福岡大学医師	
	糖尿病内科						哲翁 たまき(1回/月)
	整形外科	弦本 敏行					
	婦人科	哲翁 正博	哲翁 正博	哲翁 正博	哲翁 正博	哲翁 正博	哲翁 正博
				長崎大学医師 (神経内科) (第2水曜)		長崎大学医師 (内分泌・ 代謝内科)	諫早総合医師 (循環器内科 1回/月) (皮膚科 1回/月)
午後	内科・消化器内科	哲翁 和博	哲翁 和博		哲翁 和博	哲翁 和博	
	外科・内科	哲翁 華子	山本 正幸		山本 正幸	山本 正幸	
	内科・高血圧・ 内分泌代謝	笹栗 俊之 (14時～)	笹栗 俊之 (15時～)	笹栗 俊之 (14時～)		長崎大学医師	
	消化器内科	長崎大学医師			福岡大学医師	福岡大学医師	
	整形外科	弦本 敏行					
	婦人科	哲翁 正博	哲翁 正博		哲翁 正博	哲翁 正博	
							長崎大学医師 (神経内科) (第4土曜)
	訪問診療	哲翁 直子	哲翁 直子		哲翁 直子	哲翁 直子	

月～金曜日：午前 9:00～12:30 (受付 11:30まで) 午後 15:00～17:30 (受付 17:00まで)
土曜日：午前 9:00～12:30 (受付 11:30まで)

※日曜日と祝日は休診です。
※学会等の諸都合で変更になる場合があります。
※当院は予約制になっています。(婦人科は除く)
※2023年4月から産科の標榜を取り下げたため、分娩の取り扱いができません。
但し、妊婦健診につきましては今まで通り行っております。

※下の2次元バーコードをスマートフォン等でスキャンしますと、当院ホームページにアクセスすることができます。



医療法人博愛会 哲翁病院
〒859-2502 長崎県 南島原市 口之津町 甲1181番地
TEL:0957-86-3226 / FAX:0957-86-3227

発行日:令和6年1月4日 広報委員会